

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和2年3月28日

事業所名：重症心身障害児放課後等デイサービス INGENU

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは確保されており、すぐに横になれる布団が常に畳に出されている。プログラムに応じてマットや遊具を出すようにしている	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	定員に応じたスペースは十分確保されているが、バギーや座位保持を使用する児童が多いため、スタッフがスムーズに介助、支援ができるよう常に動線を確保できる位置で過ごしていただけるよう努める
	2 職員の適切な配置	必要な職員は常に配置されており、理学療法士が非常勤にて在籍している	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	配置についての評価は良好であるため、常に基準以上のスタッフで対応できるよう心掛ける
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	遮るものはなく、バギーでも動きやすいよう段差をなくし、バリアフリー化している	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	満足される結果であったが、角のコーナガードがはがれている部分があるため、再度環境整備を行う必要がある
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日使用した玩具やタオルを消毒し、常に清潔を心がけている。スペースは十分にあるため、状況に合わせて空間を確保している。	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	今後も掃除を徹底し、常に施設内を清潔に保てるように努める
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	去年より児童や会社の方針について話し合う機会が増えた		継続してスタッフ間で児童達のことを話し合う機会をさらに増やし、お互いが療育や目標設定について意見を出し合える環境づくりを目指す
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない		今後第三者の介入を検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	モニタリングの結果なども踏まえ、週一回ミーティングを行っている。また、今年度は1名児童発達管理責任者の資格を取得し、資質の向上をはかった		スタッフが継続して知識を高めていける様研修への参加を促し、初任者研修や児童発達管理責任者などの資格取得を目指す
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメント時に児童や保護者のニーズを聴取し、分析したうえで課題を挙げ、計画書に取り入れるように努めている。		計画を立てる前にモニタリング内容や送迎時に保護者から聴取した内容について、職員が意見を出し合い、いろいろな意見を参考に計画を立案していけるよう進めていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童に応じて個別活動と集団活動を組み合わせており、計画書に組み込んでいる	大半の保護者が「はい」との回答。しかし、「どちらとのいえない」や「わからない」との回答もあり、日々のプログラムがよくわからないとのこと意見もあった。	個別と集団での活動をしっかり分け、どちらでも児童への効果を高めていけるようなプログラムを取り入れ、保護者に日々のプログラムを明確に伝える
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童に合わせて支援に必要な項目は変更しており、項目についての具体的な支援内容を記載し、説明している		具体的でわかりやすい内容を記載できるよう努めていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	デイサービスでの日常生活活動におけるプログラムや制作、個別での適切な支援を実施できるよう努めていく	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も計画に沿った適切な支援が行えるよう計画を見返しながら支援を実施していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	週ごとにプログラムを立案しているものの、利用児童によって困難な場合があるため、状況に応じてプログラムを変更し、利用児童に合ったプログラムを実施できるよう心掛けている	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	今後のプログラムについてチーム全体で話し合う機会を増やし、新しい活動プログラムを取り入れていけるよう考えていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校への直接迎え、休日や長期休暇は保護者や本人の希望される時間に送迎できるように調整しており、利用時間に沿った支援(食事介助等)を実施している		学年が上がるにつれて、平日の利用時間が短くなってくるため、短時間でも児童に合った適切な支援が行えるよう取り組んでいく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが毎週同じにならないよう調整しており、同じプログラムでも方法を変え、また違った感覚で楽しめる様工夫している		概ね満足されている結果であったが、今あるプログラムだけでなく、新しいプログラムを行っていけるよう研修会に参加したり、チーム全体で話し合う機会を増やす
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、支援終了後に次の日の利用児童の確認、バギーなどの準備や送迎担当を決め、当日にプログラムや制作の流れを確認している		支援開始前に活動プログラムや役割の確認を徹底し、児童に合った支援を行っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に児童の様子や保護者から聴取した内容を職員間で共有できるよう努めている		今後もできる限り支援終了後に振り返り、反省点などを共有し、朝のミーティングでも反復して内容を再確認し、情報を共有していく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援計画や報告書を書く際に、体調の変化や入院などの日程を見直せるような記録を書くように努めている		日報の書き方を再確認し、必要な内容を適切に記載できるように改善をはかる
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、支援計画書や報告書を見直し、その時の状況に沿えるように見直している		モニタリング後に十分保護者や児童の意見や希望を考慮したうえで計画書を作成していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	障害児相談支援事業所を開所し、利用児童の相談支援を開始した。2名担当者会議を実施している。		実施した担当者会議の内容をスタッフに共有し、よりよい支援を行っていきけるよう努める。また、利用児童の相談支援事業所への介入を増やしていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な児童については、てんかんや熱発等、急変時に対する対応等を緊急連絡帳やアセスメントに記載いただくことでいつでも対応できるように努めており、学校の先生方とも日々の体調について聞き取りを行っている。		今後も医療的ケアが必要な児童が中心に利用となるため、児童に関わる機関との連携を深めていき、それぞれの対応方法を共有していく必要がある。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	吸引、吸引が必要な子どもに対して、主治医から喀痰吸引等指示書を依頼しており、それに準じて看護師が医療的ケアを実施している		継続して指示書を依頼し、医療機関との連絡を密に取り合っていけるようすすめていく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在移行支援は未実施		今後児童発達支援事業所から移行の依頼があれば、今までの支援内容について詳細に聴取し、スムーズに移行できるような体制を作っていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ当該事業所から卒業した児童はいない		来年卒業していく児童がいるため、卒業後に利用する事業所に支援内容について十分な情報提供を行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修には参加できていないものの、支援センターからの計画書や報告書をコピーさせていただき、スタッフに共有している		外部の施設から紹介される研修等を積極的に受講していく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	まだ実施できていない	まだ実施できていないため、「いいえ」や「わからない」との回答が多かった。	今後事業所として、保育所や児童館と交流していけるような機会を作っていけるよう目指していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域で開かれている餅つき大会や消防訓練などに児童達と参加し、協力していただいている	チェック項目に記載されていないため、回答なし	今年から毎年協力していただいている小学校での消防訓練に参加させていただいたため、さらに幅を増やしていけるよう地域の色々な方との関わりを増やしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に受給者証によってかかる利用者負担額についての説明を行い、モニタリングにて支援の内容の説明を行っている	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:0	アセスメント時や契約時の説明だけでなく、受給者証の更新による料金の変化や利用日数の変更等をその時に丁寧に説明していけるよう努める
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングで個別支援報告書の説明を行い、現在の学校や自宅での様子を聴取した後、その内容を参考に計画書を作成している	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	モニタリングでの計画書や報告書に対する丁寧な説明を徹底していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在はまだ実施できていない	はい:8 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:4	今後ペアレント・トレーニングを行っていくよう研修会への参加を進めていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳にて保護者と児童の変化などを連絡し合い、日々やり取りを行っている	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	今後も保護者との連絡を密にとり、日々の状況についての共通理解を徹底していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	当該児童だけでなく、その兄弟や姉妹の悩み等についても状況に合わせて助言や相談を行っている	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:0	保護者からの相談をしやすい環境を作り、適切な対応や助言ができるようスタッフの知識の向上をはかる
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は3月に保護者会を実施する予定であったが新型コロナウイルスの影響により、延期となった	はい:7 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:2	来年度、新型コロナウイルスの影響が落ち着き次第保護者会を計画し、開催することで保護者動詞の連携をはかる
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情などに対応するマニュアルを作成しており、常時担当者を置いている	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	苦情があった場合はマニュアルに従い、迅速で適切な対応を行っていく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害によって意思疎通や情報伝達の方法を配慮している	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	今後も障害について十分配慮しながら意思の疎通をはかる
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していないが、ホームページにてその日の活動や行事の写真を載せている	はい:8 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:3	ホームページの更新を増やし、各保護者に日々の活動内容などの写真を共有できるようSNSの活用を検討していく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報保護に関する書類を説明した上で、署名・捺印をいただいている	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	今後も個人情報保護についての説明、署名・捺印を行っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成しており、契約時に説明している。また、防犯訓練や感染症などに対する勉強会は年に一回以上実施している	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	今後も勉強会を実施し、知識の再確認や新しい知識をスタッフや保護者に周知できるよう徹底していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防犯訓練を年に一回以上行っており、避難場所の小学校に協力していただき、避難場所までの移動時間や流れをデータとして残している。	はい:9 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	まだ利用日によって防犯訓練を行っていない児童もいるため、どんな利用日、利用児童でも速やかに避難できるよう防犯訓練を実施していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修に行った後、その内容を周囲のスタッフに伝え、検討などを年一回以上実施している。		今後も年一回以上の虐待防止研修を徹底し、知識を再確認したり、新しい知識を共有する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない		今後も身体拘束を行う予定はないが、もしもやむを得ない場合があった場合は、十分に保護者の理解を得てから行うよう徹底する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	魚卵アレルギーの児童に対して、他児と一緒に食事する場合、出来る限り距離を離したり、常にスタッフが間に入り、間違っって口に入れてしまわないよう見守りを行っている		今いる児童のアレルギーに関する知識だけでなく、他のアレルギーに関する知識を増やし、適切に対応できるよう心掛ける
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細なことでもヒヤリハット報告書を記載するように周知しており、会議の際に内容について検討している。		ヒヤリハット事例を増やし、アクシデントが起こる前に未然に防げるよう常に会議などで事例検討を実施する